

アング賞受賞の思い出

一般社団法人 日本銅センター 副会長
 一般社団法人 日本電線工業会 会長
 住友電気工業株式会社 社長



松本 正義

私が、銅に本格的に関わるようになったのは一九八五年にロンドンに赴任し、IWCC*(世界銅加工業者協会)の会合に出席するようになってからです。早いものであれから三〇年。この間で特に思い出深いのは、二〇一一年にカッパークラブ(The Copper Club Inc)から「アング賞」(Ankh Award)を受賞したこととです。この賞は「カッパーマン・オブ・ザ・イヤー」(Copper Man of the Year Award)とも呼ばれております。

「♀」のイメージに重ね合わされたからだといえます。人類の歴史と深くかかわってきた銅を象徴する「♀」のバジを胸に着けて、「カッパーマン・オブ・ザ・イヤー」として壇上で表彰されたときに、記念に授与されたロダンの「考える人」のレプリカがずしりと重かったのは「それがブロンズ製であったから」というだけではありません。

一九四四年に設立されニューヨークに本拠を構えるカッパークラブは、鉱山・精錬・加工・流通といった銅産業を支える法人・個人で構成されていますが、一九六二年以来毎年、「カッパーマン・オブ・ザ・イヤー」として選んだ一名か二名にアング賞を授与し表彰しています。ニューヨークのプラザホテルで開催された授賞式と晩餐会で、銅業界のトップの方々をはじめ錚々たるメンバー五〇〇人が居並ぶ中、「世界の銅産業に貢献した」などと紹介されたのは汗顔の至りでしたが、大変光栄な時間でした。

昨年六月から日本電線工業会の会長として活動しております。二度目の登板となりましたが、電線業界においては「商慣行の改善」という積年の課題があり、前回の任時にまとめた問題点を改めて整理し、関係先と協議しながら具体的なアクションプランの策定に取り組む所存です。微力ながら、アング賞受賞時の感激を忘れず、精一杯努力し、銅産業の一層の発展に尽くすことができればと考えております。

アング賞の「Ankh」というのは「♀」という文字のことです。古代エジプトで「永遠の生命」を意味していたこの文字はまた、銅を表す記号でもあったそうです。何度も再生されて使われる銅が、永遠の生命を表す



アング賞 授賞式

(*IWCC International Wrought Copper Councilの略)

銅

目次

- 2 カパーロマン
「アング賞受賞の思い出」
松本 正義
- 3 銅の歴史物語
春日大社
銅製釣燈籠の修復
- 4 ルポルタージュ
防汚性・耐食性・耐久性で差をつける
銅合金の海面養殖用網―錦江湾
- 6 リレー随想
田舎を共有する 領域を開く建築
安部 良
- 8 ユーザー訪問
より安全性を確保した冷媒用配管へ
難燃性被覆銅管でチャレンジ
- 10 カパーワールド
銅が艶めく魅惑のサクスの音
銅の抗菌性を活かして、木材の腐朽を防ぐ
- 12 研究室探訪
世界トップクラスの日本の塑性加工技術
その先端を担おう
- 13 銅セミナー
今だに払拭できない大きな誤解
緑青は猛毒のウソ!
- 14 銅センターニュース
トピックス